

アートマイルオンライン国際交流カリキュラムモデル

アートマイル・オンライン国際交流は、文部科学省が国際交流促進事業で目標としている「2033年までに中学・高校段階でのオンライン交流100%」に対応する事業です。

英語で自分の考えを伝え、相手の考えを聞き、新たな視点を得て対話を発展させる経験を通して、世界の多様な人々と相互理解を深め、協働して新しい価値を生み出す次世代を育てることを目的としています。

始まる前に オンライン交流が始まる前に相手と「交流テーマ」と「交流日程」を相談して決めます。

始まった後 相手とのコミュニケーションは、ジャパンアートマイルが提供する電子フォーラムを使って行います。交流前には発表資料を電子フォーラムにアップして共有し、交流後には感想や質問を投げかけて、発展的な学び、深い学びへと導きましょう。

育てたい力

【異文化理解力】 世界と出会って異文化を理解する力、自分たちの文化の良さを理解する力
【英語力・表現力】 英語を使って、自分たちの考えを的確に表現し、相手に分かり易く伝える力
【対話力・思考力】 世界の多様な考えを持つ相手と対話して新たな視点を持ち、思考を深める力

オンライン国際交流の内容

月	交流活動	小学生	中学生	高校生
9月	プレゼン① 自己紹介 学校紹介	- 自己紹介・学校紹介の発表資料を英語で作成する - 発表資料をフォーラムにアップする - 相手の発表資料を読んで理解する - 発表の練習をする - 本番でははっきりと大きな声で話す - 交流後にフォーラムで感想を伝える	- 自己紹介・学校紹介の発表資料を作成し、フォーラムにアップする - テーマに関連した話題も含めると次の交流に繋がる - 本番では気持ちを伝えるように話す - 交流後にフォーラムで感想を伝える	- 自己紹介・学校紹介の発表資料を作成し、フォーラムにアップする - テーマに関連した話題も含めると次の交流に繋がる - 本番では語りかけるように話す - 交流後にフォーラムで感想を伝える
10月	プレゼン② 地域のことや 自分達の考え を伝え合う	【テーマ例】「地域の伝統文化」「私たちの食」など身近な話題 - テーマについて発表資料を作成する（人数が多い場合はグループ発表） - 発表資料をフォーラムにアップする - 相手の発表資料を読んで理解する - 本番でははっきりと大きな声で話す - 交流後にフォーラムで感想を伝える	【テーマ例】「地域の課題」「もしも私が市長だったら」「将来の仕事」など自分事のできる内容 - テーマについて発表資料を作成し、フォーラムにアップする - 相手の発表資料を読んで理解する - 本番では気持ちを伝えるように話す - 交流後にフォーラムで感想・質問を交わす	【テーマ例】「温暖化と災害」のような地球規模の課題、自分達が探究で取り組んでいるテーマなど - テーマについて発表資料を作成し、フォーラムにアップする - 相手の発表資料を読んで理解する - 本番では語りかけるように話す - 交流後にフォーラムで感想・質問を交わす
11月	プレゼン③ 新たな視点で 見つめ直し 広い視点で 対話を深める	- 相手との相違点や共通点を見つけ、話し合い、相互理解を深める - 日本の遊びや地域の歌・踊りなど児童が実演できることを含めると実感を伴う異文化理解になる - 事前に発表内容を伝える - 本番では発表を楽しむ	- 質問があればフォーラムで回答する - 相手から聞いて気付いたことや自分たちのことを見つめ直して考えたことなど、一歩進めた内容で話し合って学習を深める - 本番では自分たちの考えを相手に分かり易く伝える	- 質問があればフォーラムで回答する - 新たな視点、批判的な視点でテーマについて掘り下げて考える - 本番では課題解決や社会を良くするためにできることを話し合う - まとめとして自分たちはどういう未来を創りたいのかをメッセージにする
12月	振り返りと まとめ	- クラス内でこれまでの交流を振り返る - 振り返りのまとめ・感想をフォーラムで共有する - 最後に相手への感謝をフォーラムで伝える	- クラス内でこれまでの交流を振り返る - 振り返りのまとめ・感想をフォーラムで共有する - 最後に相手への感謝をフォーラムで伝える	- クラス内でこれまでの交流を振り返る - 振り返りのまとめ・感想をフォーラムで共有する - 最後に相手への感謝をフォーラムで伝える

※話し合う内容は、年齢、英語力に応じて考えましょう。モデルは参考例です。

※発表資料を事前に相手と共有することで、当日のネット状況や学校のネット環境で音声聞き取りにくい場合や、相手の英語訛りが聞き取りにくい場合も、内容を理解することができます。